平成21年度第2回石狩市学校給食センター運営委員会会議録

開催日時：平成22年3月12日（金）

開催時間：15時00分～16時45分

会 場：市役所4階 401会議室

出席委員：東川、佐藤（高）、北條、盛重、
二俣、菊地、加賀谷、佐藤（千）、
牧野、三上、大森、佐藤（悦）

傍 聴 者：3名

会議次第

1. 諮 問
2. 教育長挨拶
3. 議事（諮問事項の審議）
 - ・学校給食費の改定について
4. その他

開 会

（センター長）定刻でございますので、只今から平成21年度第2回石狩市学校給食センター運営委員会を開会いたします。始めに学校給食費の改定につきまして樋口教育長より諮問させていただき、その後、ご挨拶を頂きたいと存じます。

（教 育 長）学校給食費の改定について、諮問。

下記の項目について、石狩市学校給食センター条例第8条第2項の規定に基づき、諮問いたします。

1. 学校給食費の改定について、よろしくいたします。

（委 員 長）確かに受け取りました。

（教 育 長）教育長より挨拶

（センター長）教育長には、公務のため、ここで退席させていただきます。

それでは、二俣委員長、これからの議事進行につきまして、よろしくお願い申し上げます。

（委 員 長）それでは、只今、教育長から諮問を頂きました「学校給食費の改定」について事務局から説明をお願いします。

（センター長）「学校給食費の改定」について説明

（委 員 長）事務局から「給食費の改定」についての説明がありましたが、皆様の方から何かご意見・ご質問があればお願いします。

（委 員）値上げについては、やむを得ないかなと思っておりますが、献立に小袋物が栄養を補う等が入っており添加物が入っていないのか、本当に必要なのか疑問です。それと納入方法が旧石狩市と厚田区、浜益区が、何故か違います。納める方は支払い回数が多い方が良いと思っておりますので、同じ回数にすべきだと思っております。それと第2給食センターの残菜が多いのはどうしてですか。

(委員長) 只今の質問に対して、事務局お願いします。

(栄養教諭) 添加物は一切入っていない物を使用しています。栄養価の充足は安全の次に一番考えなければならないものですが、子供たちの嗜好という点からパンにジャムを付けたり、ごはんにふりかけ等を付けることで残菜を減らす方向に持っていくと言うことです。第2給食センターで残菜が多いのではと言うことですが、中学生と小学生では、摂らなければならない栄養価が違います。小学校と比べると中学校は和食中心になっていて野菜が多いため中学生になった時、献立の変化に付いていけないのではと思っています。ただ、学年を追うごとに残菜は減っております。

(センター長) 給食費の納付回数につきましては、合併前の厚田区、浜益区が12回、旧石狩市が10回となっております。これは、金融機関やコンピュータシステム改修等の問題もあり、簡単には行かない状況となっております。また、規模的にも旧石狩市の人数が圧倒的に多いため、毎月処理は難しいものとなっております。ただ、今後、回数につきましては、検討して参りたいと考えています。

(委員) 残菜については花川南小学校が多いのが気になります。また、納付回数は、多い方が良くと思いますので、可能であれば変更していただきたいと思います。それと値上げに反対ではありませんが市民に対してどのように意見を求めていくのか伺いたいです。

(委員長) 事務局、お願いします。

(センター長) 納付回数につきましては、今すぐと言う訳にはいきませんが、検討させていただきたいと思います。それと皆様への周知ですが、昨年11月から給食の現状についての文書を保護者に2回出しており、この運営委員会が終了してからある程度の方向性を示した3回目の文書を出し4月に入って正式な文書を保護者の皆様に配付したいと考えております。

(委員) それは値上げすると言う結果をお知らせするという事ですか。

(センター長) 答申をいただいた後、3月中にこのようにしたい旨のお知らせを配付し4月に入ってから正式な文書を配布する予定です。

(委員) 分かりました。答申が出てから保護者におたよりが出ると言うことですね。

(部長) 本日、諮問しましたので、まず、この段階で諮問内容について出させていただきます。今後、この協議の中で答申を受け、その段階で出すと言うこととなります。これまで2回、昨年、皆様に説明した内容について、同時進行で情報を流しております。それと市民の声と言うことだと思いますが、給食費につきましては、不特定多数ではありませんので、この運営委員会に諮問と言う形を取り、常に情報発信した中でご意見等がある方はどうぞと言う手法を取らせていただいております。それと徴収方法ですが、私どもも毎月支払いがベストだと考えておりますが、システムの改修には多くの費用が掛かり、システムも何年かでバージョンアップされておりますので、出来るだけ効率的な形で実施したいと考えてお

ります。

(委員長)他に何かご意見はありませんか。

(委員)これから保護者におたよりを出すと言う事なので、その中の意見が反映されるようにして欲しいと思います。

(委員長)他にありませんか。

(委員)旧石狩市と厚田区、浜益区は、給食費が違いますが、厚田区の方が高い理由を教えてください。

(センター長)回数の違いだけで、金額は同じです。

(委員)分かりました。

(委員長)その他ありますか。

(委員)前回の運営委員会ではグラフ等が入った資料で栄養的のこの部分が不足しているので、それを補いたいと言う説明で非常に分かりやすかったのですが、今回の諮問文と中身の関係が食数のことのみを言っており分かりづらいと思います。それと現場の声として今回の見直しに合わせて食数を増やして欲しいのと行事食が厚田区、浜益区の複式の学校では提供されていないので、考慮して欲しいと思います。

(栄養教諭)行事食につきましては、厚田区、浜益区でも同じように提供します。

(センター長)最大食数につきましては、今後、状況を勘案して増やす方向で検討してまいります。それと諮問文につきましては、文書的に短く表現しておりますので、分かりづらいかも知れませんが、保護者の皆様に配付する文書につきましては、詳しい内容のものにしたいと考えております。

(委員)要望として一般の方には、分かりやすい表現にして欲しいと思います。

(センター長)今回は、委員の皆様に分かっていただくためこのような資料にしましたが、保護者の方には計算式など分かりにくいものは出しませんので、ご理解いただきたいと思います。

(委員長)その他、何かありますか。

(委員)今回の給食費改定は、栄養基準を満たすだけのためのものでしょうか。

(栄養教諭)それもありますが、デザート、果物などの回数が減っているので、それを増やし栄養価的にも加味されるという事です。

(委員)最近3ヶ月分の献立表を見ると週1回程度フルーツが出ていて小袋は月1回出ているので、ある程度補われているのではないかと思います。改定する際、量的な事も説明しないと保護者は納得しないのではないかと思います。

(栄養教諭)小学校と中学校の献立は違っており、中学校の方が特に厳しい状態で、卒業シーズンに向けて9年間最後の3月位は、何とか遣り繰りしてフルーツやデザートを付けてあげたいと思い、小学校でも1月以降フルーツ等を増やしておりますので、先程、栄養価、嗜好、食育の観点からも給食費の改定をして欲しいと申し上げました。今後、價格的に余裕が出て来ますと食品の選択も増えバラエティに富んだ給食を提供する事が出来ますのでよろしくご理解いただきたいと思います。

(委員長) その他何かございませんか。

(委員) 要望ですが、分かりやすい文書にしていきたいと思います。

(センター長) 分かりやすくしたいと思っています。

(委員長) その他、ご意見はございませんか。

(委員) 改定について今まで2回程通知されているとの事ですが、保護者から何らかの声は上がっていますか。それと保護者に対し賛否を問う考えはありますか。また、改定によって滞納が増えると考えていますか。

(センター長) 保護者の方からご意見等は入っておりません。また、滞納につきましては、これまでも滞納整理を実施しており改定の額にもよると思いますが、極端に増える事はないと考えております。

(部長) 最終決定となりますと現行の予算では改定分を見込んでおりませんので、補正予算となり議会の議決が必要となります。それまでの動きにつきましては、保護者へのおたよりの他、報道を一つのPR材料にしております。その中であって最終賛否を保護者に問うのは非常に難しい部分もあると思いますが、多数決と言う訳にもいかず、その声を無視することも出来ませんので、状況を見ながら出来るだけPRをして声を寄せていただきたいと思います。

(委員長) 他に何かございませんか。

(委員) 先程、おたよりを出す時に保護者の意見も反映させるとのことでしたので、答申の際、出来ればそれらの意見を聞いて最終的に責任を持って判断としたいと思います。それと米飯の回数を増やす考えがあるかどうかとコスト的にどうなるか教えてください。それと米飯は食缶に入って配られていますので、単価が高くなっていると思います。北広島市は炊いたご飯を学校で直接、お椀によそっていると聞いていますが、同じようにしたらコストも下がると思います。それと今回の値上げを機会に石狩の給食をPRして欲しいと思います。それと滞納整理には裁判や専門の徴収職員の雇用等で費用が発生しているのは事実なのでそれらを減らすと言う意味からも納めやすくするのが一番だと思います。

(栄養教諭) 給食の中では、食品構成と言うのがあり1ヶ月の中でこの食品を何グラム使いなさいと決められておりますので、米飯、パン、麺の回数につきましては、バランス的に現在の回数が丁度良いと考えております。また、小麦粉に関しましては、全部ではありませんが、石狩産の小麦粉を使用しており、色々な食品と料理をバランス良くバラエティに富んだものを給食の中で体験させると言うことも食育の一つだと考えております。また、米飯を北広島のようにとの事ですが、現在の石狩の給食センターの施設ではこれ以上、食数や食器を増やすことは出来ないのも難しい状況となっております。

(委員長) よろしいでしょうか。

(委員) 給食センターの最大食数を下回っていると思いますが。

(栄養教諭) それは、センターの大きさからどれ位作れるかと言う事です。実際にセ

ンターで作って各学校のコンテナに食器等を入れる給食車が満タン状態になっていると言う事です。

- (センター長)給食のPRにつきましては、栄養教諭と協議しながら進めてまいります。
また、納付回数につきましては、検討してまいりたいと存じます。
- (部長)教育プラン作成でも色々なご意見をいただきましたが、施設の部分で制約があるということでございます。それと滞納につきましては、支払督促と言う手法を取ってから減りましたが、これだけに頼るのは危険だと思います。ある意味、圧力的な徴収方法が主流となっておりますが、納付回数の検討も取り入れて行きたいと考えております。また、食育を含めた給食のPRですが、先日、望来豚を使いましたが子供たちがこの漢字を読めることが分かり食材一つで地域学習が出来ました。合わせて栄養教諭が地産の説明を兼ねて学校を回りましたが、全校は無理ですので、今後、保健福祉部やPTAと連携し食生活改善員を活用するなどして給食時に各学校一斉に説明委員が入るようにしたいと考えております。
- (委員長)他に何かございませんか。
- (委員)米飯の残食について、学校毎でなくても全体で良いので出して欲しいと思います。
- (センター長)米飯業者と協議して参ります。
- (委員長)他に何かございませんか。
- (委員)給食に望来豚が使用されて良かったと思います。地産地消の意味で味噌についても使用してメニューにどこで作られたか等を記載してPRして欲しいと思います。
- (センター長)量的、金額的な面がクリア出来れば、使用出来ると思います。
- (委員)今後、増やしていきますので、是非、使っていただきたいと思います。
- (栄養教諭)栄養教諭としても厚田、浜益産の食材を共通食材として使用したいと考えております。今後、総合学習や社会科の授業の中でも地元食材を紹介して行きたいと思いますので、ご協力お願いします。
- (委員長)花川南小学校でも栄養教諭が校内放送で今日の給食は望来豚ですと盛んにPRしていました。他に何かございませんか。
- (委員)小麦粉も石狩産のものを使って行くということですか。
- (栄養教諭)パンにつきましては、道内産の小麦粉を使用しています。そして年に一回、石狩デーの時だけ「春よ恋」と言う石狩産の小麦粉を使ったパンを提供していますが、今後、回数を増やして行きたいと考えています。また、調理用の薄力粉は、石狩産の「ホクシン」と言う小麦粉を使用しております。
- (委員長)他に何かございませんか。
- (委員)今日の諮問の資料を見て消費税が上がった年から12年間、同じ金額で頑張ってきたなと思います。私が以前、勤めていた学校は自校給食で給食費の管理等を任せられておりましたが、かなりきついものがありました。今後も効率的な給食センターの運営と言うことでは、更なる努

力が必要だと思えますが、安心・安全な食材の提供や適切な栄養価を確保するために今後も適切な単価設定の見直しを含め先を見据えながら、こういった場で議論していくことが大事だと思えました。

(委員) 12年間、現行のまま維持されて来たその努力は大変だったと思えますので、今回の値上げはやむを得ないものと思えます。ただ、成長期の子供たちの食べるもので考えますと栄養価が充足出来なくなってからではなく、もう少し短いスパンで見直しを検討していただいた方が良いのではと思えます。

(部長) 今後、栄養価の充足率が低下してからではなく、常に毎回確認して対応して参ります。

(委員長) それでは、正式な答申は後日になりますが、このような内容にしたいと思えます。子供たちに必要な栄養価が充足された安心・安全な給食の提供を行うため、本年8月夏季休業明けから学校給食費1食当たりの単価を小学校12円、中学校24円増額改定することは妥当であると判断する。それから今後、栄養価の充足が難しい状況となった場合、時期を見てタイムリーに給食費の見直しをする。それからもう一つ保護者や市民への情報発信をスムーズにして意見も必ず聞くと言う付帯意見を付けたいと思えますが、よろしいでしょうか。

(委員) 先程、答申を出す前に保護者の意見を聞くと言う事でしたが、それは反映されないと言う事ですね。

(委員長) そうしますと更に運営委員会を開くと言う事になりますが。

(部長) それは、運営委員会で決めていただいて結構ですが、諮問内容が出ていますので、こう言う案ですが、ご意見等をお寄せくださいと言うこと記載したおたよりを3月の終業式前に出しますので、4月中に運営委員会を開催する事も可能だと思えます。

(委員長) それでは、保護者に諮問についてのご意見を聞いて、新年度4月にもう一度運営委員会を開くと言う事でよろしいでしょうか。

(委員) パブリックコメントをしないので、最低限、保護者に意見を聞くと言う事は大事ではないかと思えます。

(部長) 議会でも市民対応を十分するようと言われておりますので、委員の皆様がその様にすることであればそうしたいと思えます。

(委員) この諮問そのものは運営委員会に出されているので、まず、答申を出して良いのではと思えます。ただ、市民から反対の意見が多ければ再度、集まっても良いと思えます。

(委員) システム的には分かりますが、一つの判断材料として皆さんの意見を聞いて見てからと思えました。今回は丁寧に議論して来ましたが、往々にして諮問委員会等は、ある意味アリバイ作りに使われていると感じていたことがあるので、市民の意見を反映させる場があって欲しいと言う思いからこだわりました。

(委員長) 皆さん、値上げには反対ではないと言う事ですので、運営委員会として

答申を出す必要があると考えるのですが。

- (部長) この運営委員会は、きちんとした審議会形式になっており、皆様のご意見を判断材料として使わせていただきますので、これ自体アリバイ作りではないと言う事をご理解いただきたく存じます。皆様が市民の反応を見たいと言う事であれば、1ヶ月位、先延ばしも可能ですと申しあげました。
- (委員長) 最終的な答申は後日になりますが、今日の運営委員会のまとめとしては、値上げについては賛成ですと言う事を市民に情報発信してよろしいですね。
- (委員) 今日、答申という事ではなく、色々な意見を委員長に見ていただいて答申を出し、出された意見がどう言うものかを各委員に送付していただければ4月に開催しなくても済むと思います。
- (委員長) 皆さん、如何でしょうか。
- (部長) それでは、委員長の方で方向性を確認していただいて、我々の方でおたよりを出して最終的に出た段階で委員長にバックさせていただいて事務局から原案と状況を出してその日を以って答申とすると言う事でよろしいでしょうか。
- (委員) 私は、そういう意味で申し上げました。それと滞納者の給食費を他の保護者が負担している訳でないと言う事をおたよりに入れて欲しいです。
- (委員長) それでは、今日は答申ではなく、値上げについては、賛成であると言う方向性の確認と言う事でいきます。
- (部長) 方向性さえ確認していただければ、文案とこのような意見がありましたと言う事を各委員に確認していただいた上でやればよろしいと言う事で、その日を以って日付を入れれば良いと言う事です。
- (委員長) それでは、答申書は後ほど出ると言う事で値上げはすると言う方向性でよろしいですね。それでは、諮問、答申については、これで終わります。その他、何かありますか。
- (委員) 議事録に名前が載っていないのは何故ですか。
- (センター長) ホームページに載りますので、皆様のご意見は如何ですか。
- (委員) ホームページに出るのであれば、名前は載せないで欲しいです。
- (委員) 今までは、どうだったのですか。
- (センター長) 平成20年度から出しておりません。
- (委員) 自分としては、出しても良いと思います。
- (委員) ホームページに載せるのであれば、事前に確認するべきだと思います。
- (委員) 事前に確認していないので、今日は載せるべきではないと思います。
- (委員長) 今後、掲載の有無は事前に確認したいと思います。それでは、これを持ちまして第2回石狩市学校給食センター運営委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。

平成22年4月6日 議事録確定

石狩市学校給食センター運営委員会 委員長 二俣 裕人